

医療先進国キューバが示す

『地球と人に優しい医療』

―父チエ・ゲバラが伝えたもの―

特別講演
アレイダ・ゲバラ氏

一般講演

キューバ医療見聞録

名南ふれあい病院 副院長 早川純午 先生



第2回

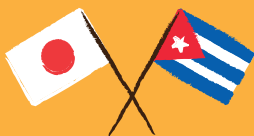
愛知地域医療セミナー

2011年 7月 23日 土 13:00 ~ 15:00

名古屋市立大学病院 中央診療棟3階大ホール

名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄1 川澄キャンパス内
地下鉄「桜山」駅徒歩3分

入場無料 (東日本大震災の義援金を募ります)
定員320名



お問い合わせ

名古屋市立大学大学院 地域医療学寄附講座 兼松
052-853-8527 aichicbms@gmail.com

主催



名古屋市立大学大学院
地域医療学寄附講座

第2回

愛知地域医療セミナー

2011年7月23日 土 13:00～15:00

名古屋市立大学病院 中央診療棟3階大ホール



第1部

キューバ医療見聞録

名南ふれあい病院 副院長

早川 純午 先生

第2部

医療先進国キューバが示す 『地球と人に優しい医療』

—父チェ・ゲバラが伝えたもの—
(通訳あり)

アレイダ・ゲバラ 氏

アレイダ・ゲバラ氏プロフィール

医師であり、フィデル・カストロとともにキューバ革命を成功に導いた、20世紀の英雄、エルネスト・チェ・ゲバラの娘。チェ・ゲバラは、1955年7月、貧しい人を救いたいと南米を旅している最中、故国キューバの革命を計画するフィデル・カストロと出会い、彼に同調する。そして1956年、28歳の若さで革命に乗り出し、キューバの独裁軍事政権を打倒、キューバを独立へと導いた。

アレイダ氏自らも医者への道に進み、南米やアフリカの貧しい子供たちへ医療活動を精力的に行っている。キューバ親善大使として活動するアレイダ氏は、「チェ・ゲバラの娘」としてだけでなく、アレイダ・ゲバラとして世界各国の多くの人たちを引き付けている。

キューバの医療について

キューバ共和国は中央アメリカのカリブ海に位置する、日本の本州の半分くらいの面積の島国である。米国資本によるさとうきびプランテーションなどの開発が進んでいたが、1959年のキューバ革命によりフィデル・カストロ政権に移行してからは、アメリカ大陸で初の社会主義国として米国と対峙することとなり、米国からの経済封鎖などを受けることとなった。しかし、国民は経済的な困難を乗り越えて独自の発展を遂げてきた。この不屈の精神は、フィデル・カストロとともに革命を主導した、アルゼンチン出身の医師でありながらキューバの再興に身を投じた世界的革命家「チェ・ゲバラ」の影響を色濃く受けたものとされている。日本では野球や柔道などのスポーツ、サルサやマンボ等のルーツといわれるラテン音楽、改良された大規模有機農業などが有名であるが、キューバ革命以降に無料化された医療と教育も非常に高い効果を上げており、国民の識字率は99.8%である。

医療については、プライマリ・ケアを重視した医療制度を敷いており、「キューバ・モデル」として有名で、国民あたりの医師の数が世界一多い。キューバ国内の約8万人の医師が欧米並みの医療レベルを維持した結果、国民平均寿命は76歳と日本や米国とほぼ同じである。医療は5段階に分かれており、ファミリー・ドクターが往診を基本に地域住民の健康状態の把握を行い、病状に合わせて徐々に高次的な医療に繋げていくシステムが取られている。医師育成の面では、医学生の学費免除や生活費支給がなされており、さらに1999年にラテンアメリカ医科大学が開設され、海外からの医学生の受け入れを行っており、将来的に彼らの自国での診療が可能になる為に総合医療教育プログラムが設けられている。(経済封鎖中の米国の医学生についても毎年500人以上の受け入れを無償で行っている。)災害時には国際的な医療支援ができるよう派遣医師団「ヘンリー・リーブ」が結成され、パキスタンやヒマラヤなどの過酷な条件下での医療支援を成功させた実績を持つなど、独自に発達した医療活動は世界的に注目されている。

愛知地域医療セミナーについて

名古屋市立大学大学院地域医療学寄附講座 (http://www.med.nagoya-cu.ac.jp/cbme_med.dir/index.html) は名古屋市及び財団法人愛知県市町村振興協会の寄附により設置された講座で、将来の地域医療の充実のため、次世代の医療を目標に人材育成とシステム構築を目指しています。当セミナーはこの活動の一環として、今後も開催していく予定です。

今回は世界的に高名なアレイダ・ゲバラ氏を招いて、キューバの地域医療に関して講演して頂くことで、これからの地域医療の在り方や医師の育成の方向性などを考える一つの話提供になればと考えています。聴講は無料ですが、入場者数に限りがありますことをご理解願います。また、会場にて東日本大震災の被災者の方々への義援金を募りたいと考えておりますので、ご賛同いただける方はご協力をお願い申し上げます。